



プルタブ集めて車椅子を贈ろう！

3年間に及ぶ取り組み

社会福祉協議会へ 念願の車椅子を贈呈



「プルタブ集めて車椅子を贈ろう！」この取り組みは、平成19年夏に菱田中学校の生徒会の話し合いの中から提案されたものでした。

『大崎町のために何かできないか』と生徒会で話し合いを行ない、車椅子を贈ることに決定したそうです。

そこで、購入資金をどうするかと情報を集める中で、ジューズのアルミ缶についているプルタブを回収して車椅子に交換できるという

うことを知り、この取り組みがスタートしました。

早速、生徒たちは各教室に回収ボックスを置き、プルタブ集めに取り組みました。

しかし、車椅子に交換するには、500kg（ドラム缶約5本分）のプルタブが必要のため、他にも協力してもらおうと、声掛け運動を始めました。

菱田小学校、大崎第一中学校、中沖小学校、野方小学校にも協力範囲が広がり、地域のボランティア団体や商店街のみなさんからも賛同していただき、生徒たちは毎月回収に行きました。

活動を始めてから約3年、集まったプルタブを業者に換金してもらい、ようやく1台を購入することができました。

菱田中学校生徒会は、3月25日（木）、大崎町社会福祉協議会へ車椅子を贈呈しました。

同生徒会は、「この車椅子は、たくさんの人達から協力があったからこそのできた活動でみんなの力です。福祉に役立ててほしい。

提案した先輩方は、卒業してしまいましたが、この活動を後輩へ繋ぎ、次の1台へ向けて続けて行きたい」と話していました。

プルタブ回収は、町内の小中学校に広がりほとんどの学校が取り組んでいます。



▲集めたプルタブの一部

